

■ 編 集 委 員

池淵 研二* (委員長)

赤塚 俊隆* 伊崎 誠一* 小山 勇* 仁科 正実 町田 早苗 松下 祥* 御手洗哲也*
渡辺 修一* Chad L Godfrey (*Associate Editor 兼任, 五十音順)

■ Associate Editor

池田 正明 太田 敏男 永井 正規 萩原 弘一 (五十音順)

■ 編 集 後 記

暑さはなんとかしのいでいるが、ここ数日は寝不足気味である。私一人ではなく日本人全体がそうになっている可能性大である。この原因はロンドンオリンピック。毎日が日本中をワクワクさせてくれる。今晚は男子サッカー、今朝がなでしこジャパン、昨夜が卓球女子団体、その前がバドミントン女子ダブルス、などなど。これまで日本と言えばバレーボール、柔道、マラソン、レスリングでメダルが取れるというパターンだったが、ロンドンでは違って来た。選手全員頑張っている、どんな競技でもメダルを取ってくれるという感じ。技術力、器用さ、勤勉さ、奥ゆかしさが売りの日本人だったが、こうもスポーツで世界に注目される活躍をみせてくれるとは、嬉しい限りだ。

元気な日本の中で、埼玉医大もますます元気である。特にリサーチマインドという合言葉がキャンパス内を闊歩するようになっている。先日の教授総会でもテーマはリサーチマインド。埼玉医科大学がそのレベルを上げ、次のステップに突入していることを実感する。

埼玉医科大学雑誌もご多分に漏れず、今回は多数の学内グラント終了時報告書・終了後報告書が掲載できた。先日第5回目のグラント受賞者成果発表会が開催されたが、今後の成果が期待できる研究内容ばかりであった。科研費にはもうちょっとで採択されそうな課題と研究者をサポートするよう、学内グラント選考会も少し方針を変えて、申請者中の採択率は高くなってきている。若手研究者を後押しし、凄い研究者にオオバケさせるかも知れない、弾みをつける良い資金提供システムだなあ、と感心させられる。そして成果として優れた論文をどしどし応募してもらえ、分厚い雑誌になることを願っている。

(池淵 研二)

埼玉医科大学雑誌

<http://www.saitama-med.ac.jp/jsms/>

第 39 巻 第 1 号

編集責任者 池淵 研二

平成 24 年 8 月 15 日 印刷

発行所 埼玉医科大学 医学会

平成 24 年 8 月 31 日 発行

350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話 049(276)2102/2030 (直通) FAX 049(276)1964 E-mail: igakkai@saitama-med.ac.jp

郵便振替 00540-6-19727

制 作 株式会社アテネデザイン

東京都港区三田 1-11-19 小宮ビル 2 階 電話 03(3456)5741 (代) <http://www.atene.co.jp>